



海外フィールドワーク科目 体験談

Freshman “Go Global” Program -5I (ベトナム) 科目を履修した2024年度受講生の声をお届けします。

■ Freshman “Go Global” Program -5I

研修先：ベトナム ホーチミン
研修期間：2月下旬～3月上旬
開 講：秋学期 集中科目 2単位



社会学部 坂田さん

●受講のきっかけ

この科目を受講しようと思ったきっかけは同志社Portalからの通知で、「これしかない!」と思ったからです。2年次春学期、周囲の学生が海外での経験を積み重ねていました。また国際的な視野が必要な学科に所属しているにも関わらず、渡航経験が少なく劣等感を抱いていました。その中でこの科目は渡航初心者向けでなおかつ、海外での学びができるからこそ受講しようと思いました。

●科目に期待していたこととそれがどう実現されたか

私はこの科目で2つのことに期待していました。1つ目はベトナム戦争についてです。ベトナム戦争が現地の人々にとってどのように語られているのかを知りたいと思いました。2つ目は就活に対する疑問の解消です。就活を始めるにあたって、何をすればいいのかや、自分は何を仕事にしたいのか、海外で働くとはどういうことかを知りたいと思いました。これらの期待は事前学習から事後学習までを通して、大部分は実現されたと思います。現地では戦証博物館において様々な思いを感じることができましたし、現地含め授業内外で先輩方や先生が就活について教えてくださるなどサポートがありました。

●事前・事後授業と他の授業との両立について、工夫していたこと

事前授業内でベトナムについてであったり、訪問する企業のことについて調べたりする授業があるが、できるだけ自分の興味関心に合わせたものや学科と共通する分野について調べていました。そうすることでベトナムのことを意欲的に学習できると思います。また様々な学部から学生が来ているからこそ、各々チームメンバーの学んでいる学びを活かした意見や情報を聞くことができました。

●現地研修での活動内容とその満足度

全体を通して満足度は高かったです。博物館やクチトンネルなどの歴史を知る点においても、ベトナムで活躍している企業(オムロン、イオン、東急など)について知る点においても、食や教育などの文化を体験する点においても良かったです。

●特に印象的だった訪問先とその理由

特に印象的だった訪問先はオムロンのベトナム工場です。オムロンでは工場見学だけではなく、そこで働かれている社員さんとの座談会もあり研修の中で1番有意義な時間を過ごすことができました。特に座談会では「海外駐在」や「就活」などについて気軽に質問することができました。私自身、海外駐在はあまり興味がありませんでした。しかし、オムロンが行っている支援や海外駐在の制度を聞くことができ「海外で働くことも悪くない」と印象が変わりました。

●自由時間の過ごし方

自由時間は買い物に行ったり、ご飯を食べに行ったりしました。基本的にはインターネットでお店を調べてから、徒歩や地下鉄を使用して行きました。レストランやスーパーがホテルの近くにたくさんありますし、日本食や身近な食べ物もあるので食には困りません。

●科目の受講を通して得た気づきや、自分自身の考え方やキャリアプランの変化

私は今まで日本で働くことしか考えていませんでした。しかしこのプログラムを通して、海外駐在がある企業にも挑戦してみたいと思いました。それはベトナムで働く日本の人が個人の成長だけではなく、ベトナム社会の成長をささえることが楽しいと仰っており、国際的な舞台で社会貢献ができる点に心惹かれたからです。

●プログラム参加を検討している学生さんへのメッセージ

「海外に行きたいけどどうやって行ったらいいかわからない…」「やりたいことや就きたい仕事がない…」「海外の文化に触れたい!」どんな人でもこのプログラムは学生生活でよい経験になります。海外に行ったことのない人・行ったことある人や進路が決まっている人・決まっていない人みんな、このプログラムには参加でき、様々な背景を持った同志社生と関わることもできます。ぜひ参加して、ベトナムの発展と自身の成長を感じてみてください。

法学部 坂本さん

●受講のきっかけ

派遣留学の前に、海外経験をなるべく安全に積みたかったから。

●科目に期待していたこととそれがどう実現されたか

戦争跡地など、旅行ではなかなか訪れない場所へ行くことを楽しみにしていたが、戦争跡地にとどまらず企業のオフィスや日本語学校などへ訪問でき、期待を上回る結果となった。

●受講前に抱いていた不安とそれをどう克服したか

金銭面で不安を抱いていたが、毎月2万円貯金を続けて無事に貯めることができた。

●事前・事後授業と他の授業との両立について、工夫していたこと

他の科目と被らない時間に開催されて助かった。重く苦しみようなものではない。

●現地研修での活動内容とその満足度

コーディネーターさん付き添いのもと、都市部の観光地から戦争跡地まで様々な解説をしてくださりとても勉強になったし、企業や工場の方も、普段では入れない場所にも案内してくださり、気さくに話してくださって貴重な時間になった。

●特に印象的だった訪問先とその理由

東急さんが中心となって街開発が進むビンズン市。想像以上に洗練された都市で、自然と高層マンションが共存し、日本のどの街よりも近代的に感じたから。

●自由時間の過ごし方

毎晩、グループのメンバーや他の友達とご飯を食べに行き、市内を観光できてとても楽しかった。横断歩道を渡るのがあんなに楽しくなるとは。(笑)

●科目の受講を通して得た気づきや、自分自身の考え方やキャリアプランの変化

普段自分が見ている世界はとても狭い世界であると気づいた。自分とは遠く離れた地で、幸せそうに暮らしている人たちを見て、今まで自分が抱えていたしがらみや将来への焦りは、視野の狭さからくるものなのだと気づいた。

●受講後に新しく始められた取り組みや新たに目標とされていること

これをきっかけとして、多くの国へ行ってみようと思い始めた。

●プログラム参加を検討している学生さんへのメッセージ

少しでも参加したいと思う気持ちがあるなら、参加を勧めます。一人で旅行するときでは訪れない場所、出会えない人、得られない経験がここにはあります。単に楽しむ目的でも、得られるものはたくさんあると思うので、ぜひ参加してみてくださいね。

